

1 研究テーマ

生活に生きる道德の時間について ～道德の時間とくらしをつなぐための工夫について～

2 はじめに

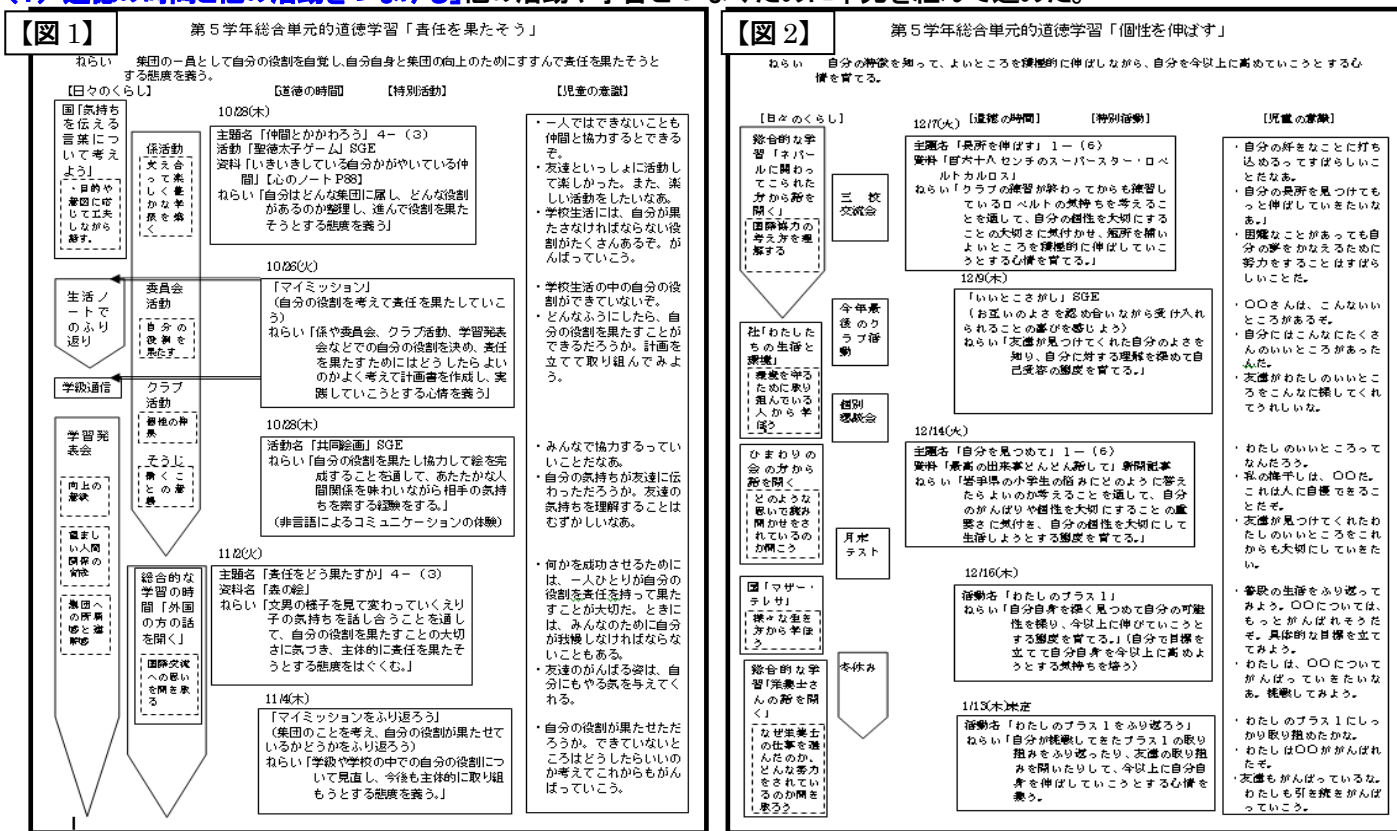
自制心や規範意識、人間関係を築く力が低下している子どもたちが多く見受けられる。このような子どもたちの現状を解決していくために、道德教育の一層の充実が叫ばれている。道德教育は未来を拓く子どもたちに生きる力を育み、道德性を養うために必要不可欠なものである。道德教育の要である道德の時間の進め方を工夫したり道德の時間を他の活動とつなげたりしながら子どもたちに道德的実践力を育成していきたい。

3 研究目的

道德の時間の指導法を工夫したり、道德の時間と他の学習をつなぐ手立てを行ったりしながら、子どもたちに道德的実践力を育てていくための方法について研究する。

4 研究内容

(1)「道德の時間と他の活動をつなげる」他の活動や学習とつなぐために単元を組んで進めた。



総合単元的道德学習「責任を果たそう」 【図1】

〈ねらいを達成するための工夫〉

- ア 児童の生活や意識に寄り添って進める。(アンケートを行って意識の把握に努め、授業中に道德的価値に関わる児童の日常の姿を提示する)
- イ 心のノートを活用する。(大型テレビで画像と言葉を提示して課題意識を持たせる)
- ウ 構成的グループエンカウンター(SGE)を実施する。(集団の中での自分の役割を進んで果たそうとする)
- エ 自分が立てためあてについて生活ノートや話し合いで振り返る。

〈学習を通して見られた子どもの姿〉

- ▲ SGEと道德の時間のねらいの整合性が低く、学習をつなぐ手立てを行わなかった。
- ⇒ SGEで学んだ道德的価値を道德の時間の学習で深化する様子が見られなかった。
- 道德の時間に、学校行事を扱った資料を用い学校行事での子どもたちの画像を提示した。
- ⇒ 学校行事で学んだ道德的価値を、道德の時間の学習を通して深化する様子が見られた。
- ワークシートや生活ノートで日々の振り返りを行ったり、学級活動で話し合いを行ったりした。
- ⇒ 児童に意欲の高まりが見られ、行動に現れた。

〈ねらいを達成するための工夫〉

- ア 児童にとって身近で生活に関する事柄を資料化して道徳の時間に活用する。(同年代の子どもの新聞への投稿文を使用する)
- イ SGEでのシェアリングを充実させ、児童が自己受容する態度を育てる。(SGEと道徳の時間のねらいの整合性を図るため)
- ウ 道徳の時間にSGEのワークシートを活用したり振り返りを行ったりする。

〈学習を通して見られた子どもの姿〉

- 道徳の時間の展開後段の学習活動で、SGEのワークシートを児童に配り、SGEを行ったときの気持ちを思い出させた。
- ➡ SGEを行ったときのワークシートを見て、活動したときの気持ちを思い出し、道徳の時間の話し合いで友達の発言に共感し合いながら話し合いが深まる様子が見られた。また、話し合いの深まりによって、道徳的価値を深めた発言や記述が見られた。

(2)「道徳の時間の学習を工夫する」児童の道徳的価値を深めるために道徳の時間の授業の進め方を工夫した。

①ねらいについて

中心になる活動、児童の気付き、育みたいことの3部分に分けて設定する。(活動の中心をはっきりさせ、つきたい力を明確にするため)

②導入を工夫する

粗く自分自身の道徳的価値について見つめる ⇒ 授業へ臨む心構えをつくり、学習する内容項目を児童に示す。

③発問を練る

よい発問とは・・・ (「中之町小学校道徳教育研究会研究紀要」より)

- ・子どもの実態に即して、心が揺さぶられる
- ・何を問うているか明確
- ・誰にでも答えられる
- ・子どもが自由に自分の感じ方や考えを表現でき、多様な価値観や考えが出る
- ・自分のこととして考えられる

④ペアトークの活用

・なかなか自分の思いを表現できない子ども
 ・相手の意見をじっくり聞くことができない子ども

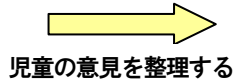


子ども個々の思いを全体の話し合いに生かす

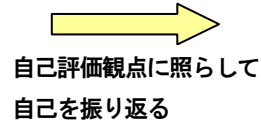
⑤自己評価観点を設定してそれに照らして自分を振り返る

自己評価観点とは、道徳の時間に、子どもたちが話し合っただけでなく、見つけた道徳的な価値観(道徳の時間に、体験や生活経験にもとづいて話し合った中から導き出した子どもたちなりの道徳的価値観)「自己評価観点から自分を見つめる発問のあり方」坂本哲彦著(学事出版)より

資料をもとに話し合う



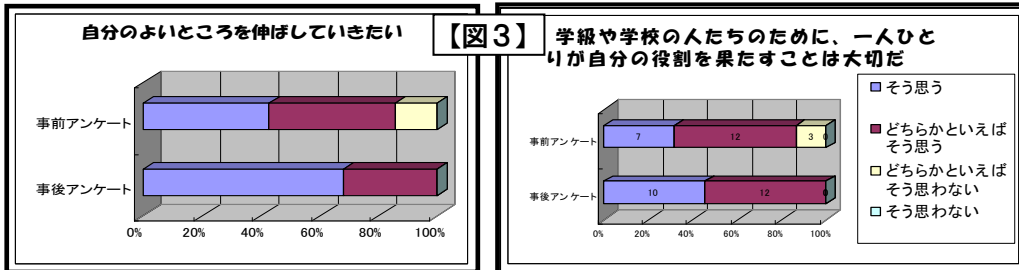
授業の中で、自己評価観点を設定する



今まで・これからの自分を考える

5 研究のまとめ

- ・SGEを取り入れることで子どもたちが道徳的価値を高めたり、話し合いが活性化したりした。ただし、すべてのSGEを活用できるわけではないので、道徳教育に効果的なSGEを整理しておくことが必要である。
- ・単元を組んで道徳教育を進め、他教科や他領域との関連を図ることで、子どもたちが道徳的価値を深める様子が見られた。行事との関連を図って道徳教育を進めることも有効であった。【図3】



〈道徳の時間に体験とつなげて考える〉

6 今後の課題

- ・自己評価観点を設定して授業を進めることについてのさらなる研究と実践が必要である。
- ・評価の方法を考え、学校全体、家庭、地域と連携して道徳教育を進めていかなければならない。

7 おわりに

道徳教育は学校教育全体で進めるものである。日常の子どもたちの様子をしっかりと見取って、道徳の時間の学習を工夫したり、他の学習とつなぐ手立てを行ったりしながら、今後も子どもたちに道徳的実践力を育てていきたい。